



令和5年12月1日

12月号



桜の聖母学院小学校

『小さいけれど確かな幸せ』

教頭 中津真貴子

☆先月の学習発表会には、保護者の皆様、ご家族の皆様に多数ご参観いただきました、ありがとうございました。今年もまた、この行事を通して、子どもたち一人一人の輝きや成長を感じ取っていただけたことと思います。

☆さて、2023年最後の月を迎えました。一年を締めくくる、振り返る、そんな時期に「救い主イエス・キリスト」はお生まれになりました。学習発表会で4年生が演じた聖劇のように、神のおんひとり子であるイエスのご降誕は、全世界に大きな喜びを与えてくださいました。

☆小説家 村上春樹の著書「うずまき猫のみつけかた」の中に、「小確幸(しょうかくこう)」という言葉があります。読んで字のごとく、「小さいけれど確かな幸せ」を意味するもので、この著書の中で用いられた造語です。これには深い意味があると私は思います。例えば、「今日一日健康に過ごすことができた」とか「自分の行ないに対して、ありがとうと言ってもらえた」とか、ささやかな喜びや満足感において自己満足だけで終えることなく、その背景にある他者や対象への気づき、そして大いなる感謝と幸せを感じ取る想像力がなければ、「小さいけれど確かな幸せ」を味わうことはできないからです。そしてそれこそが大きな喜びでしょう。

☆今月16日のクリスマス祝賀式では、4年生が再び聖劇を演じてくれます。保護者の皆様、ご家族の皆様にもぜひご出席いただき、救い主イエスの誕生という大きな喜びの中に、私たちがこの一年で得た数々の「小確幸」に感謝しつつ、共にクリスマスを迎えることができましたら幸いです。

待降節に入りました

今週から「待降節」に入りました。「待降節」とは、救い主イエスの誕生を待つこの一か月のことをいいます。本校では、全校朝礼を3回開いて、イエス様をお迎えする心の準備をします。

今週月曜日には、その1回目の「待降節朝礼」が行なわれました。

今回は、本学院中高教諭シスター中本敦子先生を招いて、ご講話をいただきました。

「皆さんの家にお客様がいらっしゃる時にはきれいに掃除して、お部屋を暖かくしてお迎えますね。それと同じように心をきれいにあたたかくしてイエス様をお迎えるのです。」

これは中本先生ご自身が幼少期にいただいた言葉で、今も待降節を迎えると思い出されるそうです。子どもたちはこの言葉通り、善行に励んで心の準備をすることでしょう。(真)



絵本の読み聞かせでは、優しく包み込む中本先生の語りにも引き込まれました。

【クリスマス祝賀式のご案内】

☆子どもたちとクリスマスの喜びを共にしてくださいませよう、ご案内いたします。

- ・日時 令和5年12月16日(土) 9:30~10:40 *開場 9:20
- ・会場 短大マリアンホール 3階 講堂
- ※明日12/2(土)に案内プリント配付

【募金のご協力】

☆今年度のめあて

『だれかの役に立つことや自分にできることを考えて募金をしよう』
※ご協力よろしくお願いします。

☆期間

- 第1回 ⇒令和5年12月13日(水)・14日(木)
- 第2回 ⇒令和6年 1月10日(水)・11日(木)

おめでとうございます~各種コンクール~

【国語科】

- ◎「住みよい地球」全国小学生作文コンクール2023
 - ・努力賞(高学年の部)：6年 [redacted]
- ◎第55回 福島県児童作文コンクール
 - ・佳作：3年 [redacted]
- ◎第14回みんゆう新聞感想文コンクール
 - ・優秀賞(小学5,6年の部)：6年 [redacted]

【図工科】

- ◎令和5年度福島県火災予防絵画・ポスターコンクール 福島地区審査会
 - 【低学年の部】・金賞：2年 [redacted]
 - 【高学年の部】・金賞：5年 [redacted]
 - 5年 [redacted]
 - ・銀賞：4年 [redacted]
 - ・銅賞：6年 [redacted]
- ◎令和5年度 阿武隈川上流児童図画コンクール 図画部門
 - ・優秀賞：5年 [redacted]

ありがとうございました ~バスケットボールの寄贈~

11月21日(火)、福島スポーツエンタテインメント株式会社様および株式会社イケダ様より、本校にバスケットボール15個の寄贈がありました。

寄贈式には、全校生の代表として6年生が出席しました。

その後、いただいたボールでドリブルやフリースローゲームをして楽しみました。全校生で大切に使用させていただきます。



(真) 「福島ファイヤーボンズ」のロゴ入りボールです!

ご協力ありがとうございました

◇11月4日(土)に、今年度2回目の「資源回収」と「ベルマーク作業」を行ないました。

- ・資源回収..... 1,436 kg
- ・ベルマーク作業... 17,500.5点

◇次回2月17日(土)は、今年度最後の作業日となっております。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。(学校側担当：加藤、湯川)

「達成感と満足感を味わった学習発表会」

2年担任 黒岡 朋子

学院祭が終わってからすぐに、学習発表会の練習が始まりました。今年度の2年生は、「はらべこあおむし」を英語劇で発表しました。台本の読み合わせでは、全て英語のセリフということで、子どもたちは、「難しそう」という印象を持ったようでした。しかし、毎日繰り返し練習を重ねていく中で、英語の発音に気をつけながらセリフをしっかりと覚えることができました。そして、役になりきり、動きを工夫できるようにもなりました。また、どの役も劇には欠かせないことを伝えると、自分を含め、クラスの仲間一人一人が大切な役割を果たしていることに子どもたち自身が気づくことができました。「劇を成功させる」という目標に向けて、練習を通して学級の団結力が次第に高まっていくのも感じました。発表会当日、演技を終えた子どもたちの顔は、達成感と満足感で溢れていました。教室に戻った後の、「笑顔でできた」「発表が楽しかった」という子どもたちの言葉が、担任として何よりも嬉しく思いました。学習発表会での学び、「みんなで目標に向かって、継続して一所懸命に取り組んでいくこと」をこれからも子どもたちと大事にしながら過ごしていきたいと思えます。

また、校内発表会では、私自身、桜の聖母学院小学校の子どもたちの演技や演奏を初めて観ることができました。マリアンホールという大きなステージ、たくさんのお客様の前で緊張した中、堂々と演技をしたり、演奏をしたりする子どもたちの姿に驚かされました。どの学年の発表も表情や視線、声の大きさやセリフを言うときの動き、その一つ一つが本当に素晴らしかったです。子どもたちの熱のこもった発表に引き込まれ、笑ったり感動したりと、特別な学習発表会となりました。



自分の役になり切って、最後まで演じました。